

2 薬科学専攻博士課程前期課程

1. カリキュラム表

科目区分	科目名	配当 回生	開講期間	必修 / 選択	単位数	開講 年度	備考	
専門科目	コア	薬品分子創製化学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		生体分子解析学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		薬物動態解析学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		生体機能薬学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		薬物作用解析学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		分析神経科学特論	1	春	選択	2		オムニバス
		生命有機化学特論	1	秋	選択	2		オムニバス
		公衆衛生・国際保健特論	1	夏期集中	選択	2		オムニバス
		研究開発・知的財産特論	1	夏期集中	選択	2		オムニバス
		専門英語	1	秋	選択	2		
	選択	医療情報分析学特論	1	秋	選択	2	奇数	
		医薬品安全評価学特論	1	春	選択	2	奇数	
		創剤学特論	1	秋	選択	2	偶数	オムニバス
		病原微生物学・感染症学特論	1	春	選択	2	奇数	
		分子生物薬剤学特論	1	春	選択	2	偶数	オムニバス
		臨床治療学特論	1	春	選択	2	奇数	
		幹細胞生物学特論	1	秋	選択	2	奇数	オムニバス
		生理・構造生物学特論	1	秋	選択	2	偶数	オムニバス
		生活習慣病特論	1	春	選択	2	偶数	オムニバス
		薬用資源学特論	1	秋	選択	2	奇数	
薬科学研究科目	演習	演習 1	1	春	必修	2		
		演習 2	1	秋	必修	2		
		演習 3	2	春	必修	2		
		演習 4	2	秋	必修	2		
	特別実験	特別実験 1	1	春	必修	2		
		特別実験 2	1	秋	必修	2		
		特別実験 3	2	春	必修	2		
		特別実験 4	2	秋	必修	2		
自由科目	技術者実践英語特論	1	春	選択	2		修了に必要な単位にはカウントしません	

※開講年度の「奇数」は奇数年度、「偶数」は偶数年度に開講します。

カリキュラムマップ

カリキュラムマップは、科目とディプロマポリシーの対応関係を一覧にしたものです。

科目区分	科目名	科目ナンバリング	ディプロマポリシー									
			知識			技能						
			医薬品等の創製を中心とした薬科学の専門知識を有する。	高い倫理観を持って医薬品等の研究開発や教育研究、衛生行政に貢献できるような、問題発見・解決能力、論理的思考能力を有する。	論理的な学術論文の作成やプレゼンテーションができる。	国際社会で活躍するために、薬科学分野の専門知識を用いた英語での基本的なコミュニケーションができる。	化学・物理系	生物系	衛生行政系			
専攻科目	コア	薬品分子創製化学特論	GPHPM20C0101J	○								
		生体分子解析学特論	GPHPM20C0102J	○								
		薬物動態解析学特論	GPHPM20C0103J		○							
		生体機能薬学特論	GPHPM20C0104J		○							
		薬物作用解析学特論	GPHPM20C0105J		○							
		分析神経科学特論	GPHPM20C0106J	○	○							
		生命有機化学特論	GPHPM20C0107J	○								
		公衆衛生・国際保健特論	GPHPM20C0108J	○	○	○						
		研究開発・知的財産特論	GPHPM20C0109J	○	○	○						
	専門英語	GPHPM20C0110J									○	
	選択	医療情報分析学特論	GPHPM20SE101J			○						
		医薬品安全評価学特論	GPHPM20SE102J			○						
		創剤学特論	GPHPM20SE103J	○	○							
		病原微生物学・感染症学特論	GPHPM20SE104J		○	○						
		分子生物薬剤学特論	GPHPM20SE105J	○	○							
		臨床治療学特論	GPHPM20SE106J		○							
		幹細胞生物学特論	GPHPM20SE107J		○							
		生理・構造生物学特論	GPHPM20SE108J	○	○							
		生活習慣病特論	GPHPM20SE109J			○						
		薬用資源学特論	GPHPM20SE110J	○								
臨床副作用学特論		GPHPM20SE111J		○	○							
分子病態学特論	GPHPM20SE112J		○									
薬科学研究科目	演習	演習1	GPHPM20PR101J							○		
		演習2	GPHPM20PR102J							○		
		演習3	GPHPM20PR201J							○		
		演習4	GPHPM20PR202J							○		
	特別実験	特別実験1	GPHPM20RE101J						○	○	○	
		特別実験2	GPHPM20RE102J						○	○	○	
		特別実験3	GPHPM20RE201J						○	○	○	
		特別実験4	GPHPM20RE202J						○	○	○	
自由科目	技術者実践英語特論	GPHPM20FR101J								○		

科目ナンバリング

科目ナンバリングは、授業科目に当該科目のカリキュラム上の位置づけに対応する番号を付すことで、学生が科目の系統履修および修了要件充足の自己管理を容易にするためのものです。

科目ナンバリングの基本フォーマット

G	P	H	P	H	1	4	M	E	1	0	1	J
研究科	専攻	カリキュラム年度		科目区分	配当回生	分類番号	使用言語					
①	②	③		④	⑤	⑥	⑦					

- ① 3桁のアルファベットで学部・研究科・全学横断科目の区分を表しています。

【研究科の区分コード】

薬学研究科	GPH
-------	-----

- ② 2桁のアルファベットで専攻の区分を表しています。

【専攻区分コード】

薬学専攻		PH
薬科学専攻	博士課程前期課程	PM
	博士課程後期課程	PD

- ③ 2桁の数字はカリキュラム年度を表しています。
④ 2桁のアルファベットで科目区分を表し、卒業要件と対応させています。

【薬学専攻科目区分コード】

科目区分	ナンバリング設定
医療薬学分野科目	ME
病態生理解析分野科目	PA
特別研究科目	RE

【薬科学専攻博士課程前期課程科目区分コード】

科目区分		ナンバリング設定
専門	コア	CO
	選択	SE
薬科学研究科目	演習	PR
	特別実験	RE
自由科目		FR

【薬科学専攻博士課程後期課程科目区分コード】

科目区分	ナンバリング設定
専門科目	SP
薬科学研究科目	RE

- ⑤ 1桁の数字で配当回生を表しています。
⑥ 整理番号として2桁の数字で分類番号を表しています。
⑦ 1桁のアルファベットで使用言語を表しています。

【使用言語コード】

日本語開講	J
英語開講	E

2. 科目区分ごとの必要単位数

薬学研究科薬科学専攻博士課程前期課程を修了するためには、2年間（標準修業年限）以上在学するとともに、専門科目（コア）より、8単位以上（うち、履修する専門分野の特論2単位および履修する分野以外の特論2単位以上）、専門科目（コア）および専門科目（選択）からあわせて14単位以上、「演習（8単位）」および「特別実験（8単位）」を必ず履修する必要があります。したがって、履修すべき30単位以上は、以下の組み合わせにより履修しなければなりません。

専門科目	コア	4単位以上 (履修する分野の特論から2単位、それ以外の分野の特論から2単位以上 ^(※))	14単位以上
	選択	8単位以上	
薬科学研究科目	演習		8単位
	特別実験		8単位
合計			30単位以上

(※) 薬品分子創製化学特論、生体分子解析学特論、薬物動態解析学特論、生体機能薬学特論、薬物作用解析学特論の中から4単位以上履修する必要があります。

3. セメスターごとの登録上限単位数

1年間に履修科目として登録することができる単位数の上限はありません。